

**特集****職業レディネス・テストで  
パーソナリティを探る**

自己理解と職業理解は、キャリア教育、キャリア形成支援を進めるうえで最も重要なポイントです。

進学や就職の方向性について意思決定するために、「自分とは何か」「仕事とは何か」「世の中にはどのような職業があるのか」を考え、検討するには、アセスメントをうまく活用することが非常に効果的です。

職業レディネス・テスト (VRT) は、アメリカの職業心理学者ホランド (J.L.Holland) の職業選択理論に基づいた6つのパーソナリティタイプを使って、自分の興味や職務遂行の自信度などを測定するアセスメント・ツールです。能力検査ではなく、自分のパーソナリティを探り、職業への準備度 (レディネス) を把握するものです。

VRTを有効に活用するためには、教師、カウンセラーやコンサルタントなどのキャリア支援者が、正しく結果を解釈し、その生かし方を本人に適切にフィードバックする必要があります。

今号では、そのための手がかりとしていただくよう、現場での事例や論考を集めました。



## ●表紙

パン・菓子製造科 パイづくりの実習  
(東京都菓子学園 提供)

**読者アンケート & 当会発行図書プレゼント!**

編集部では、今後の誌面作りに役立てるため、読者の皆様の声をお待ちしております。WEB アンケートへご協力いただいた方に、ご希望の図書を差し上げます。詳しくはこちらにてご覧ください。

<http://www.koyoerc.or.jp>

QRコードからもアクセスできます。  
(一部の携帯電話は対応していません。ご了承ください。)

**特集**

## ●巻頭言

職業レディネス・テストを活用した自己理解

日本体育大学体育学部 教授 **本間啓二** 3

## ●事例

総合学科高校での

系列・科目選択、進学の際の学部・学科選びに  
東京都立晴海総合高等学校 キャリアカウンセラー **千葉吉裕** 4

商社の営業職志望からIT業界SEに方向転換  
こころとキャリアのカウンセリングオフィス結 代表 **山本公子** 6

「目に見える形」になることで、  
「しごと」への方向性を探る手がかりに  
さがみはら若者サポートステーション 総括コーディネーター **織田鉄也** 氏 8

職業レディネス・テスト 教員研修の事例  
早稲田大学大学院教職研究科 教授 **三村隆男** 10

**連載**

## ●しごとインタビュー

細心の注意を払いながら、産業機械を組み立てる

井 **武敏**さん 産業用機械組立工 14

## ●わが社の人材開発

「人こそすべて」との考えに基づき、  
充実した人材育成制度を構築

平岩塗装株式会社 16

## ●企業研修の現場から 7-3

キャリアを考える「場」をつくる (3)  
一語りを支える「聞き手」

小野田博之 有限会社キャリアスケープ・コンサルティング 代表 17

## ●職業能力開発の現場から

“美しく、美味しい菓子作りの職人”を養成

東京都菓子学園 18

## ●キャリアセンター通信

女性の未来を拓く場所  
武庫川女子大学

19

## ●キャリア指導の現場から 29

共創の「知」

千葉吉裕 東京都立晴海総合高等学校 キャリアカウンセラー 20

## ●スクールカウンセラー風便り 第31回

いじめ考 その3

一怖いのは、正義に乗りたいじめ

金屋光彦 東京都スクールカウンセラー (臨床心理士) 21

## ●キャリアカウンセリングの現場から 22-3

外的キャリアについて考える

八巻甲一 株式会社日本・精神技術研究所 キャリア開発カウンセラー 22

## ●お知らせ

「職業研究」は2016年は年3回の発行になります。

2016年 No.1 (3月発行)、No.2 (7月発行)、No.3 (11月発行)  
引き続きご愛読いただきますよう、よろしくお願いたします。